

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	尿由来揮発性化合物による認知症に関連する尿バイオマーカー探索
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>村上コホート研究の参加者で、2014年-2015年の新潟県関川村の特定健診会場などで行われた「ものわすれ検査」を受検された方、研究課題名「アルツハイマー病予測を目的とした尿中バイオマーカー探索」に参加された方、を対象とします。</p> <p>（研究課題名「地域住民における自己申告認知機能検査の精度検証および認知機能の関連要因解明のための疫学研究」、承認番号 1836、研究責任者 中村和利。研究課題名「地域住民における認知機能に関するコホート研究（5年後追跡調査）」、承認番号 2018-0057、研究責任者 北村香織）。研究課題名「アルツハイマー病予測を目的とした尿中バイオマーカー探索」、承認番号 2015-2081、研究責任者 渡邊裕美）</p>
③概要	<p>高齢者人口の増加とともに認知症患者の急増は大きな社会的な問題となっています。そのため、認知症の早期の患者さんや発症リスクの高い人を見いだし、認知症の進行を遅らせる介入を行うことが非常に大切です。そのため、私たちは、尿検査という、より多くの方が気軽に受検できる検査方法で、認知症の早期発見や発症リスクの高い人を判別するための研究を行っています。</p> <p>この研究では、以前の研究で取得した尿やものわすれ検査の結果や村上コホート研究の質問票の回答を用います。あらたに採尿や検査をお願いすることはありません。本研究への参加を取りやめたい場合は、下記⑪のお問い合わせ先まで御連絡下さい。研究参加を取りやめることで不利益を被ることはありません。</p>
④申請番号	2025-0338
⑤研究の目的・意義	<p>誰でも簡単に採取できる尿を用いて認知症を早期発見する検査ができれば、検査を受けることも容易となり、認知症対策に非常に役立つと考えられます。この研究では、尿に含まれる分子のなかでも揮発性化学物質に注目し、その量の違いを、認知機能検査の結果と比較して、認知機能低下や認知症に特徴的な分子を明らかにし、尿を用いた認知症早期発見のための検査法開発に貢献することを目的とします。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2029年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>本研究で得られた情報は、認知機能低下や認知症発症に関連する尿中揮発性化学物質を特定するために用います。使用するデータは個人が特定されないように取り扱います。研究の成果は、学会や専門誌等の発表に利用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が後悔されることはありません。</p>
⑧利用または提供する	認知機能検査（MMSE）の得点、尿・性・年齢・現病歴などの基本情報、

情報の項目	村上コホート研究の調査票の回答、特定健診結果を利用します。
㊿利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 医学部 環境予防医学分野 渡邊裕美 京都産業大学 加藤啓子
㊿試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 医学部 環境予防医学分野 渡邊裕美 京都産業大学 加藤啓子
㊿お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学 医学部 環境予防医学分野 氏名：中村和利、渡邊裕美 Tel：025-227-2124 E-mail：kazn@med.niigata-u.ac.jp